

## 環境に配慮した取組の状況

### 1. 目標と実績

- (1)目標 温室効果ガス排出量:前年度比 2%削減  
コピー用紙の使用量削減:前年比 2%削減
- (2)実績

	基準年度(平成 27年度)	昨年度(平成 28年度)	削減率
温室効果ガス排出量(t)	64.7	59.1	8.6%
電気使用量(KW)	85,860	77,724	9.9%
自動車用燃料使用量(l)	9,599	8,924	7.0%
紙使用量(枚)	313,750	298,750	4.7%

### 2. 具体的な取り組み内容

- 自動車利用の抑制
- 社用車の削減
- カーシェアリングの利用促進

### 2.エコドライブの推進

- 車両別の燃費管理と公表
- 工場(丹羽郡扶桑町)との間を一日 2 往復していたワゴン車便一日 1 往復に減便。

### 3.用紙類の削減

- 両面コピー利用などによる紙の使用量削減
- 電子掲示板、共有フォルダの利用などによるペーパーレス化

### 4.オフィス古紙の分別回収とリサイクル

- 分別ボックスの設置
- シュレッダー古紙のリサイクル
- 両面コピーの励行

- 5.事務用品事務用機器のリユース
  - 余剰文具の回収および適切な配布
  - 使用済み封筒の再利用
- 6.輸送時の廃棄物の削減
  - 通い箱、通い封筒の利用
- 7.生産活動における廃棄物の削減
  - リボン製造工程の見直しによるロスの低減
- 8.グリーン購入の推進
  - 環境ラベル商品の購入リストの整備
- 9.生物多様性を環境方針に追加
- 10.生物多様性に配慮したカーボンフリー製品の開発と販売3
- 11.トイレに擬音装置を設置
- 12.電気使用量の削減
  - 不要照明の消灯の徹底
  - 店舗蛍光灯をLEDに更新
  - 省エネタイプの誘導灯の採用
  - 夏季は早朝、2階事務所の窓を開くことによりビル内の余熱を取り除く。
  - 春季、秋季、事務所の窓を開くことにより終日外気を取り入れ、蓄熱を排除。
  - 冷暖房を利用する際は、ドア、窓の閉鎖を厳守。(ドアに表示)。
  - デマント監視装置による警報時は各フロアの電気使用を停止。
  - 3階エアコンの更新時に高効率の機材に変更。
- 13.省エネルギー推進会議の実施
14. エネルギー使用実績のグラフ掲示
15. 窓ガラスの断熱塗装
16. 環境配慮項目の集計

## お問い合わせ先

株式会社青山

所在地 名古屋市中区栄 3-10-34

担当 上杉 毅

電話 052-857-8001

FAX 052-242-1148

Email [uesugi@aoyama-ribbon.com](mailto:uesugi@aoyama-ribbon.com)